

このナイトガードに潜む問題は何か？



特別企画

パラファンクションから 歯列と顎関節を守る ナイトガード製作の一考察 ——その理論と製作の実際

荒谷昌利

荒谷デンタルクリニック
連絡先：〒344-0061 埼玉県春日部市柏壁1-9-46

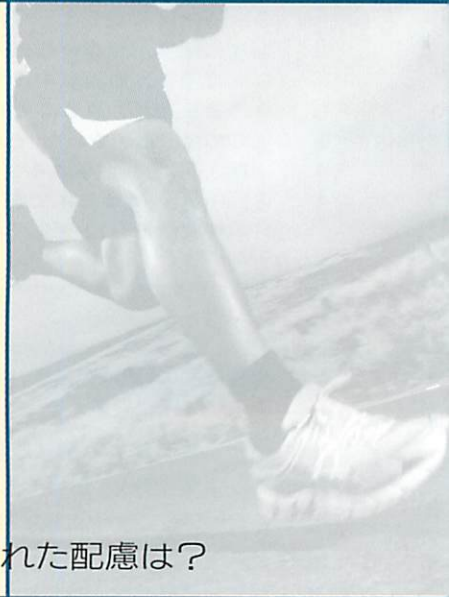
キーワード：ナイトガード，顎関節，パラファンクション，
整形外科的安定，楔

A Consideration of the Form of Night Guard
that Protects Dentitions and TMJs from Parafunction

Masatoshi Araya



このナイトガードに施された配慮は？



はじめに

日常臨床において、白歯部に装着したポーセレンの破折や繰り返し生じるインレーの脱離、さらには最後白歯部インプラント上部構造の破壊などのトラブルは、決して希有なことではないだろう。それに関して議論となる代表的なテーマには、①機能時において装着した補綴物を破壊から防ぐためにどのような材質を用いるべきか、②非機能時、とくに夜間のパラファンクションから装着した補綴物を守るにはどうしたらよいか、の2つが挙げられるだろう。そして、これらに対する解決策としては、それぞれ、①' 大白歯部咬合面あるいは大白歯部におけるインプラントの上部構造には可能な限り割れにくい材質を用いることが賢明だ、②' 睡眠時にナイトガード

を装着させる、という提言が出されることが多いようである。しかし①' は、たとえばポーセレンの破折という現象やインプラントを適用した理由である欠損歯に至った根本的な原因論が議論されないままの対症療法的な提言のように思われる。たとえ材質を変えたところでポーセレンを破折させるエネルギーを減少させられるわけではないだろう。

②' にしても、製作時に起こりうるある重要な現象を見落としのまま、ただやみくもにナイトガードが製作されている感が筆者には否めない。

そこで本論文では、先に挙げた2つのテーマに共通する根本的問題点を踏まえ、多くの日常臨床で導入されているナイトガードあるいはマウスガードの問題に焦点を絞り、その解決法に関する筆者の考えを紹介してみたい。